

ドキドキわくわく あたらしい本 えほん

2022.8

いい一日いちにちってなあに？

ミーシャ・アーチャー 作
石津ちひろ 訳
BL 出版

ダニエルは、きんじょのひとたちと
とってもなかよしです。まちをあるく
ダニエルに、みんなが「いい一日
を！」とこえをかけてくれます。「いい
一日って、なんだろう？」とおもった
ダニエルは、いろいろな人ひとにたずね
ます。

みんなのいい日がいっぱいでてく
る絵本えほんです。

バスが来ましたよ

由美村嬉々 文 松本春野 絵
アリス館

病気びょうきになり、だんだんと目が見え
なくなってきたわたしですが、それで
も仕事しごとはつづけ、バスでかよって
います。おなじバスに、小学校しょうがっこうへかよ
う女の子おんなこがいて、わたしがおりるま
で、おてつだいをしてくれるのです。

女の子が小学校を卒業そつぎょうすると、こ
んどはいもうとがおてつだいをして
くれることになりました。おてつだいリ
レーは、ずっとつづいていきます。

低学年

つきよ 月夜のサーカス

安孫子ミチ 作 よしだるみ 絵
銀の鈴社

ある夕ゆうぐれどき、まちの広場ひろばにサーカ
スの一座いちざがやってきました。あしたの夜よるに
本番ほんばんまえのおさらいがあると聞きつけた
ねずみたち。おさらいだから、きっと、お
金かねはとらないと、まちじゅうのねずみがお
しゃれして、ぞろぞろ ぞろぞろ、広場のテ
ントあつに集まっていきました。ねずみで満員まんいん
の客席きゃくせきにおどろいた団長だんちょうたちでしたが、
予定よてい通りにはじめます。

さあ、どんなサーカスがはじまるのでし
ょうか。

きりんのまいにち

二宮由紀子 作 大野八生 絵
光村図書出版

きりんは、まいにちいろいろなことをし
て過すぎしています。大好きなかくれんぼを
してみたり、足あしをつけてみたくて海うみへ行っ
たり、さかだちのけいこをしてみたり。

そんなきりんには、かたつむりやかえ
る、みつばちなど、たくさんのなかまがい
ます。きりんのことが大好きななかまたち
は、たくさんのことを教おしえてくれます。

きりんとなかまたちの毎日まいにちをえがい
た、15のおはなしです。

はじめましてのダンネバード

工藤純子 作 マコカワイ 絵
くもん出版

あまみやそうた
天宮蒼太は小学校4年生。ひっこみ思案で、
人見知り、思っていることを口に出して言うのが
にがて
苦手です。

ある日、蒼太のいる1組に転校生がやってき
ました。名前はエリサ・ビソカルマ、ネパールから
やってきた女の子でした。エリサは、日本語があ
まりわからず、何日たっても、だれとも話をしよう
としません。となりの席になった蒼太は、そんな
エリサが気になっていますが、話しかけることが
できずにいました。

そんな時、ある事件じけんがおこり、エリサが学校へ
来なくなってしまいました。

おもちゃ屋のねこ

リンダ・ニューベリー 作
田中薫子 訳 くらはしれい 絵
徳間書店

ハティは、放課後ほうかごに大おじであるテオおじさん
のおもちゃ屋「ティディとメイ」てつだを手伝っていま
す。ある日、おもちゃ屋にねこがやってきて、シ
ョーウィンドウの中でまるくなっていました。茶色
と黒がまざった、べっこうのようにきれいな毛な
みに、明るい緑色みどりの目をしたねこでした。次の
日も、その次の日もねこはおもちゃ屋にいまし
た。ハティとテオおじさんはすっかりねこがすき
になり、「クルリン」という名前をつけました。ふ
しぎなことに、クルリンがいると、おもちゃが前よ
りも売れるようになりました。でもある日、もっと
ふしぎなことがおこったのです。

高学年以上

いのちの木のあるところ

新藤悦子 作 佐竹美保 絵
福音館書店

いまから八百年ほどもむかし、トルコのエルズ
インジャンという町で、好奇心こうきしんにあふれ自由な精
神を持つ少女トゥーラーン姫は家族と幸せに暮
らしていました。三姉妹の末娘として育ったトゥ
ーラーンは本が大好きで、物語の主人公がする
ような冒険と運命の恋をすることに、あこがれて
成長していきます。

トゥーラーンが十七歳さいになった夏、二番目の
姉の真珠姫と隣国の皇帝スルタンとの結婚が決まりました。
結婚式に参列するために訪れた貿易都市ス
ィヴァスで、出会った少年王子アフマドシャーと
見学した治癒院ちゆいんに、トゥーラーンは興味を持ちま
した。

金曜日のヤマアラシ

蓼内明子 著 中田いくみ 装画
アリス館

小学六年生の始業式、わたしのクラスにやっ
てきた転校生、桐林敏きりばやしびん。色が黒くて、手足の長
いその男の子は、言い方がきつくて、話しかけら
れてもそっけない。いつもイライラしてる感じで、
「うるせーな」ってにらんでくるし、「さよなら」って
声をかけても無視をする。トゲトゲしていて、まる
で長いトゲをもったヤマアラシみたい。となりの席
のわたしはイライラが伝わって落ち着かない。う
わさではかなり本格的にサッカーをやっていて、
プロのサッカー選手を目指しているという。

そんなヤマアラシがある日とつぜん、「名前、
はせべって言うんだ」と、わたしに話かけてきた。